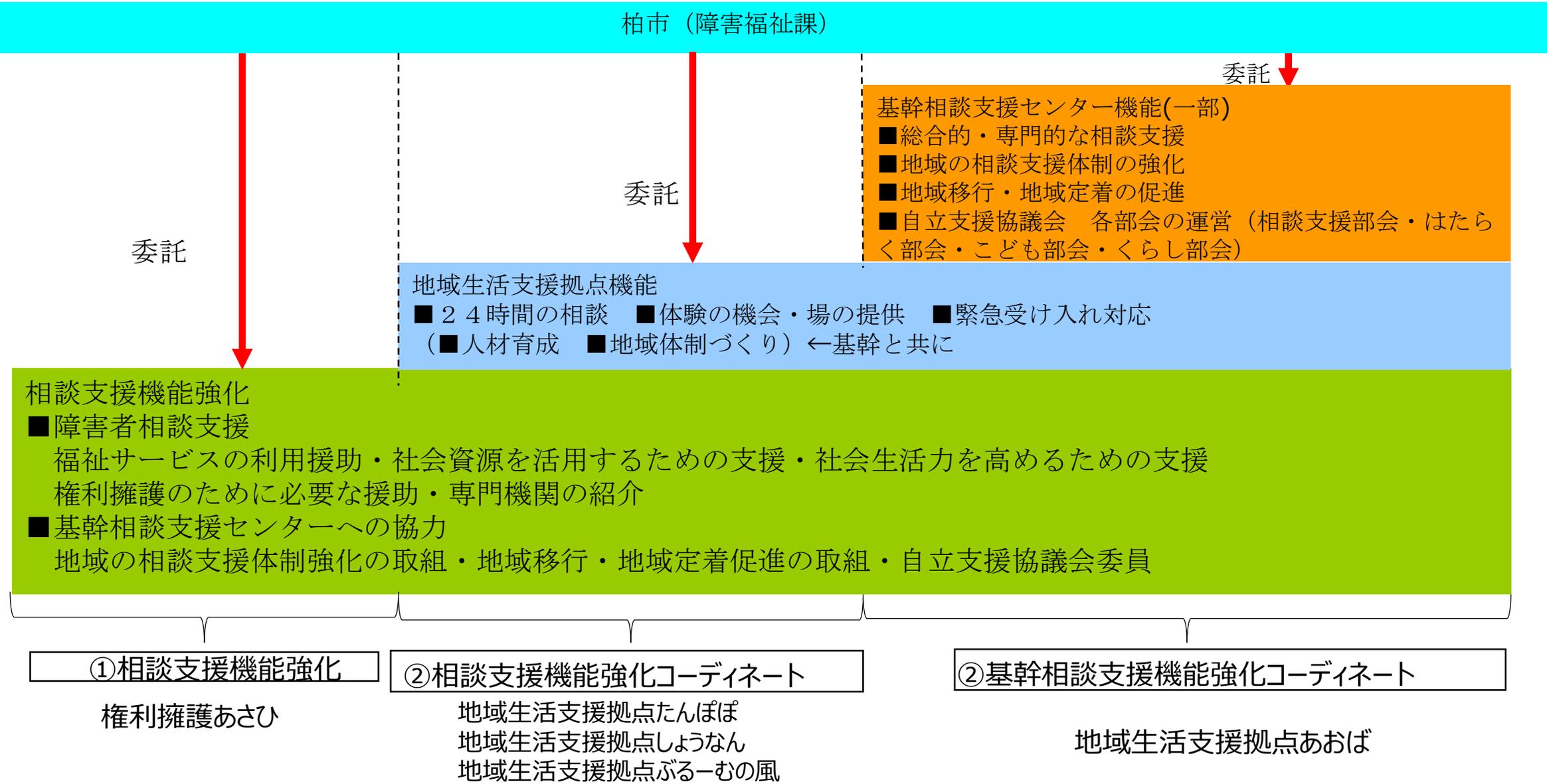


～令和 5 年度～  
柏市委託相談支援事業実績報告

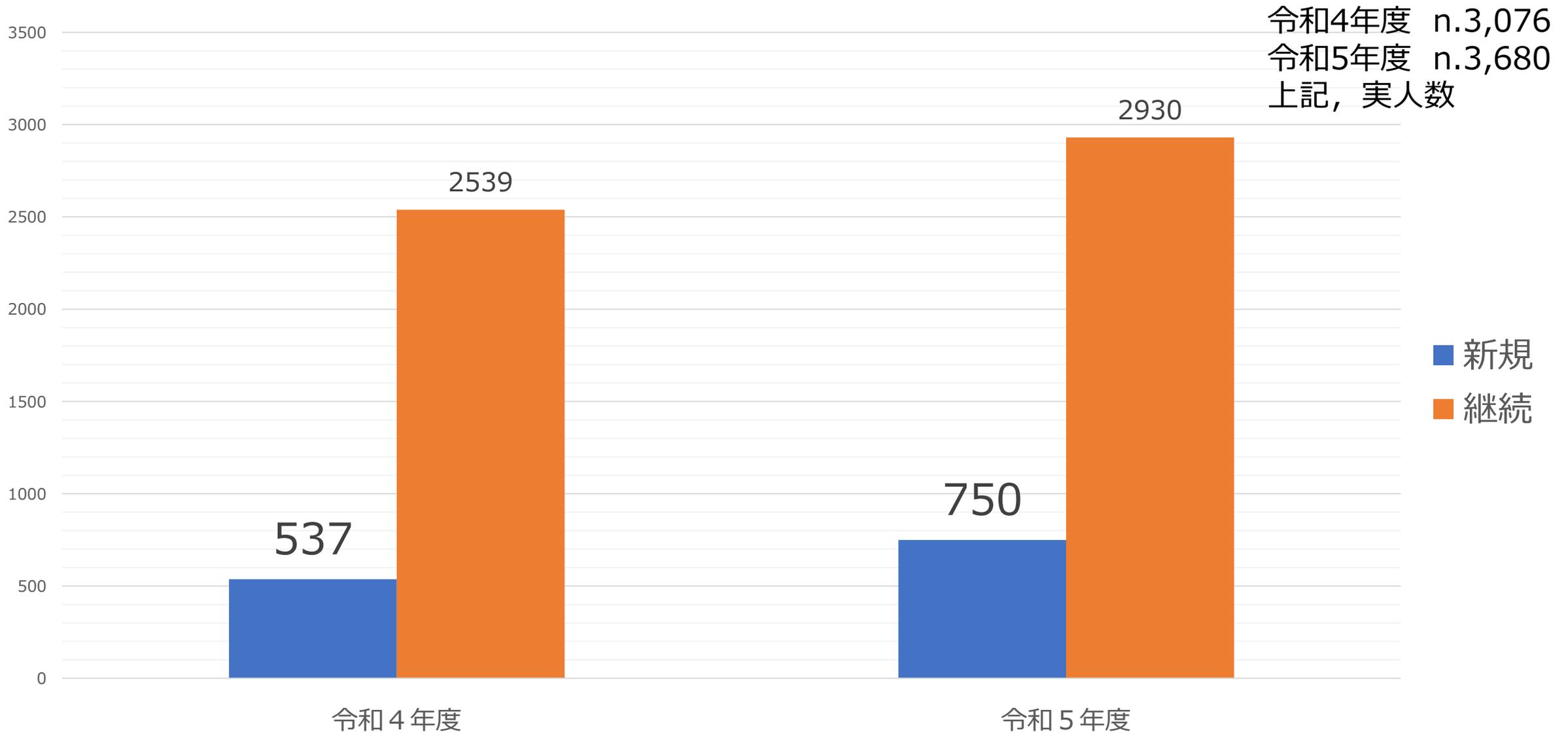
柏市障害福祉課

# 柏市における委託相談支援事業

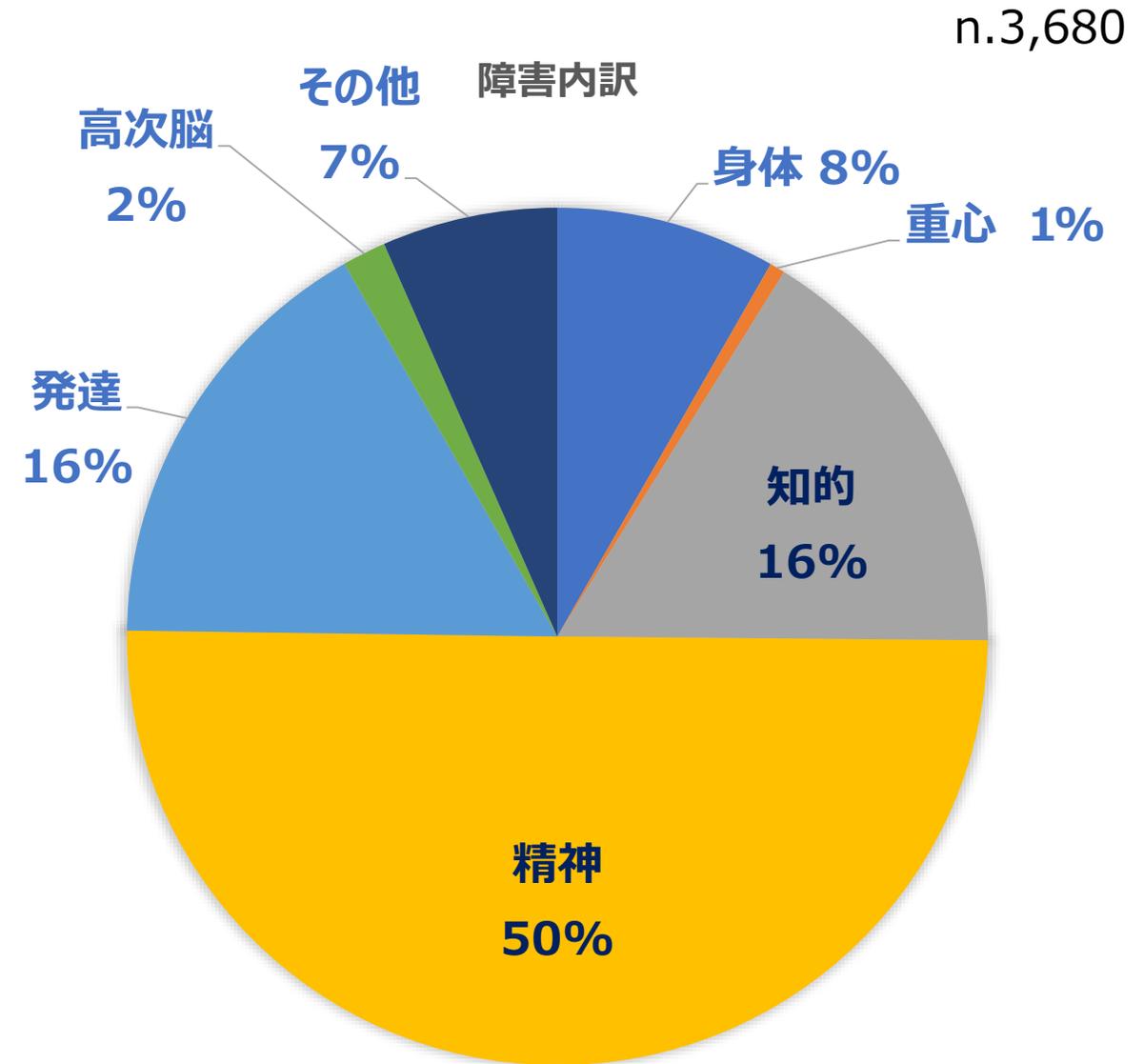
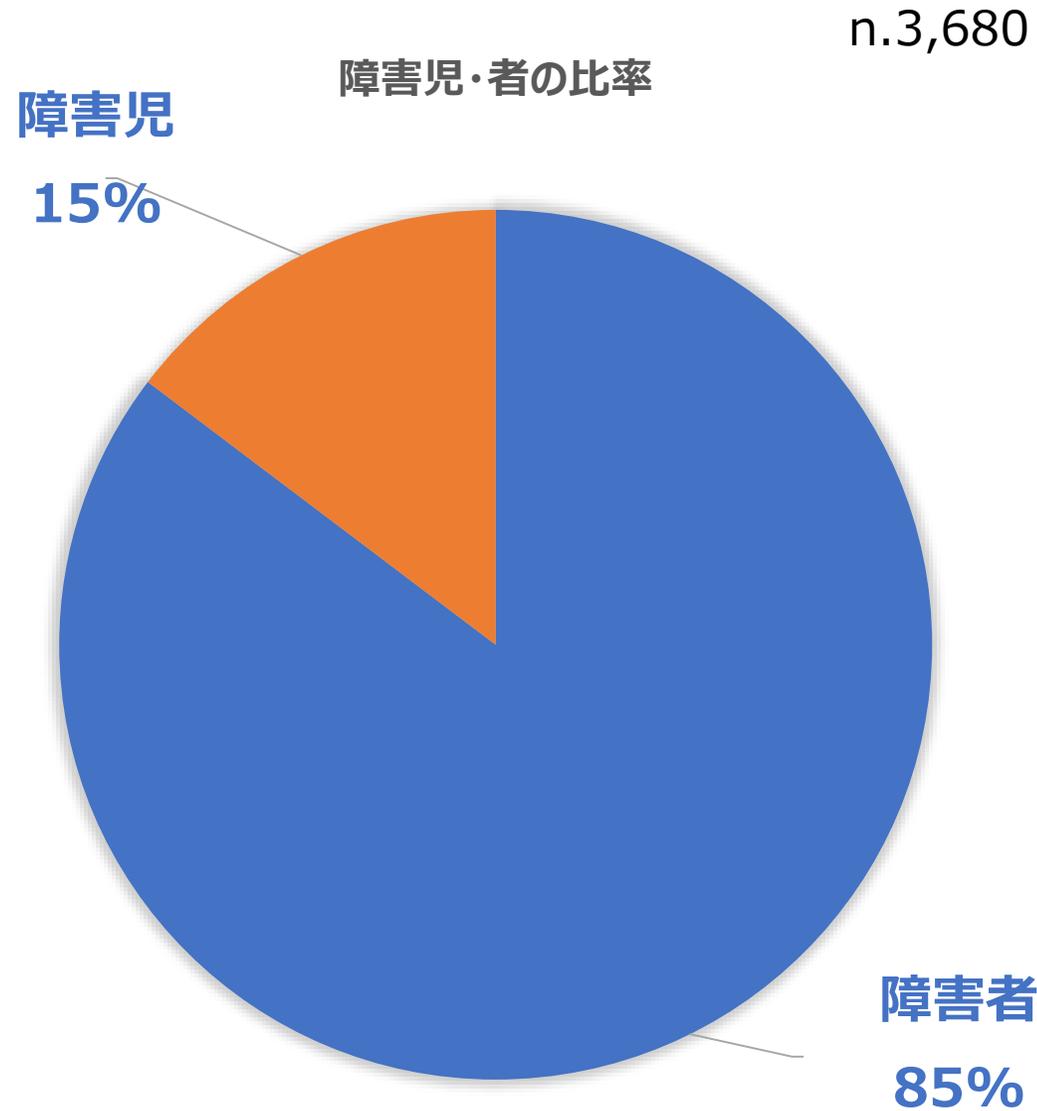
## 柏市における相談支援機能（令和5年度）



# 1.相談支援を利用した障害者等の新規及び継続の比較

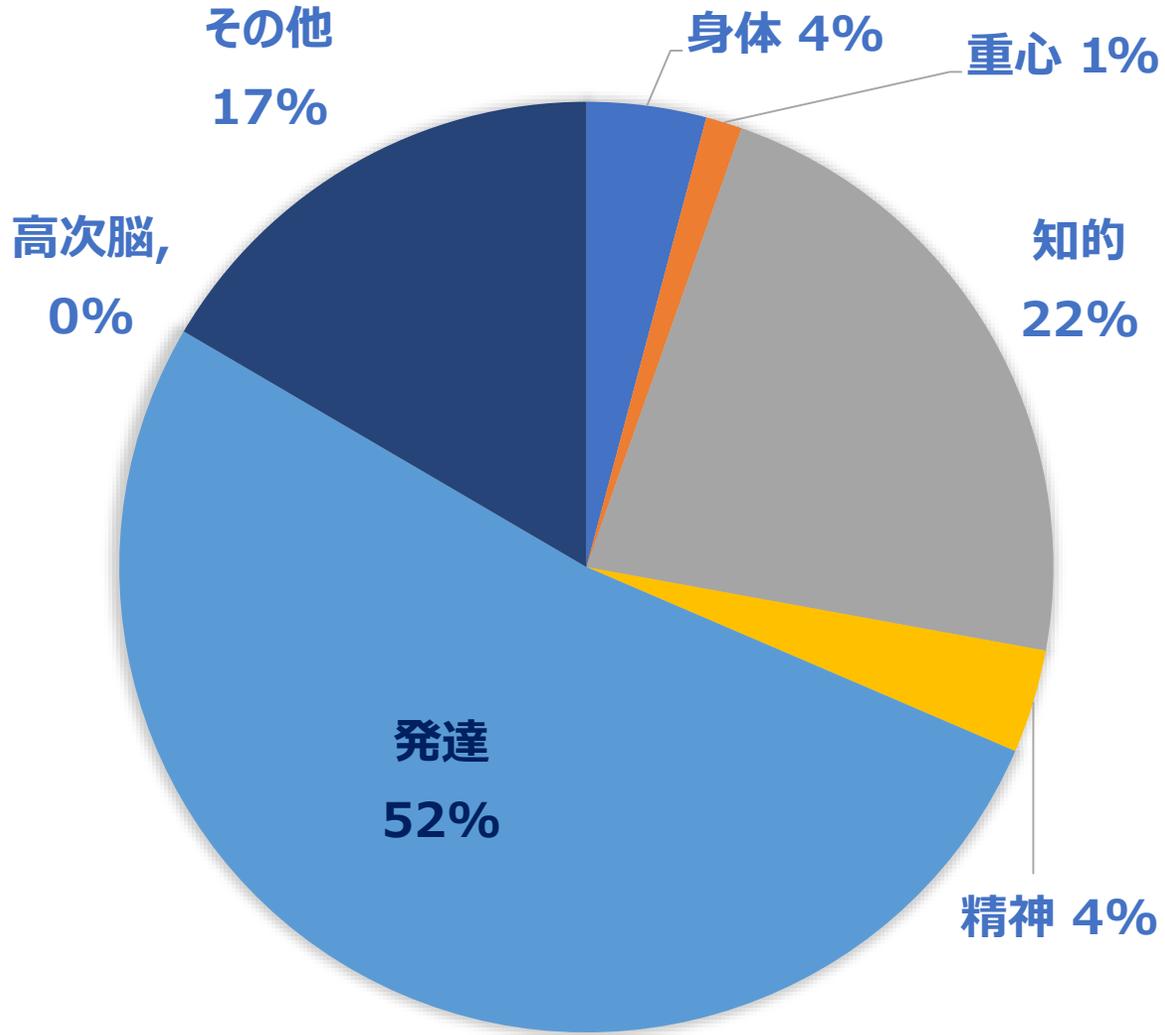


## 2.相談支援を利用した障害者等の数値



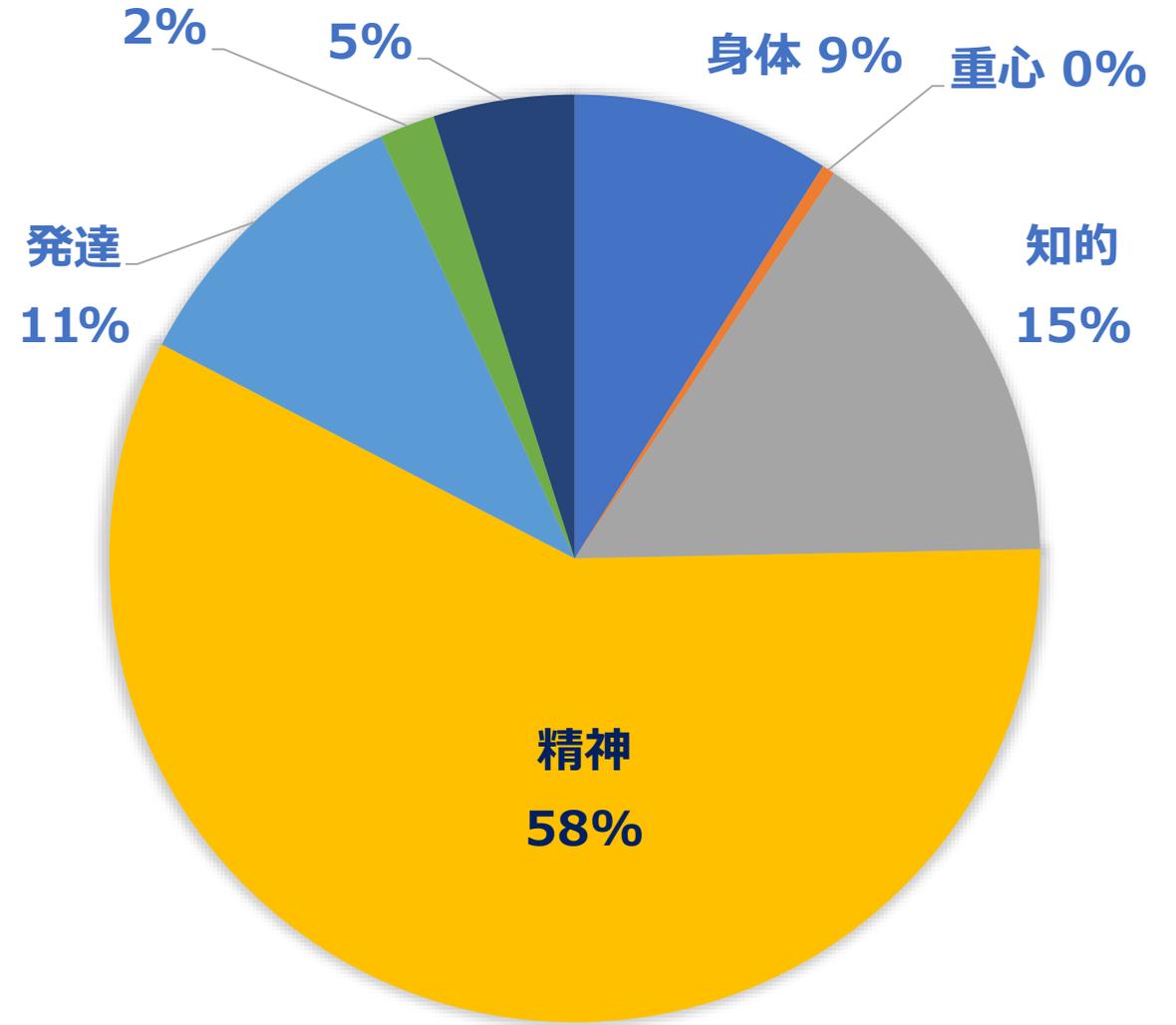
# 3. 相談支援を利用した障害児・者の比較

児の障害内訳

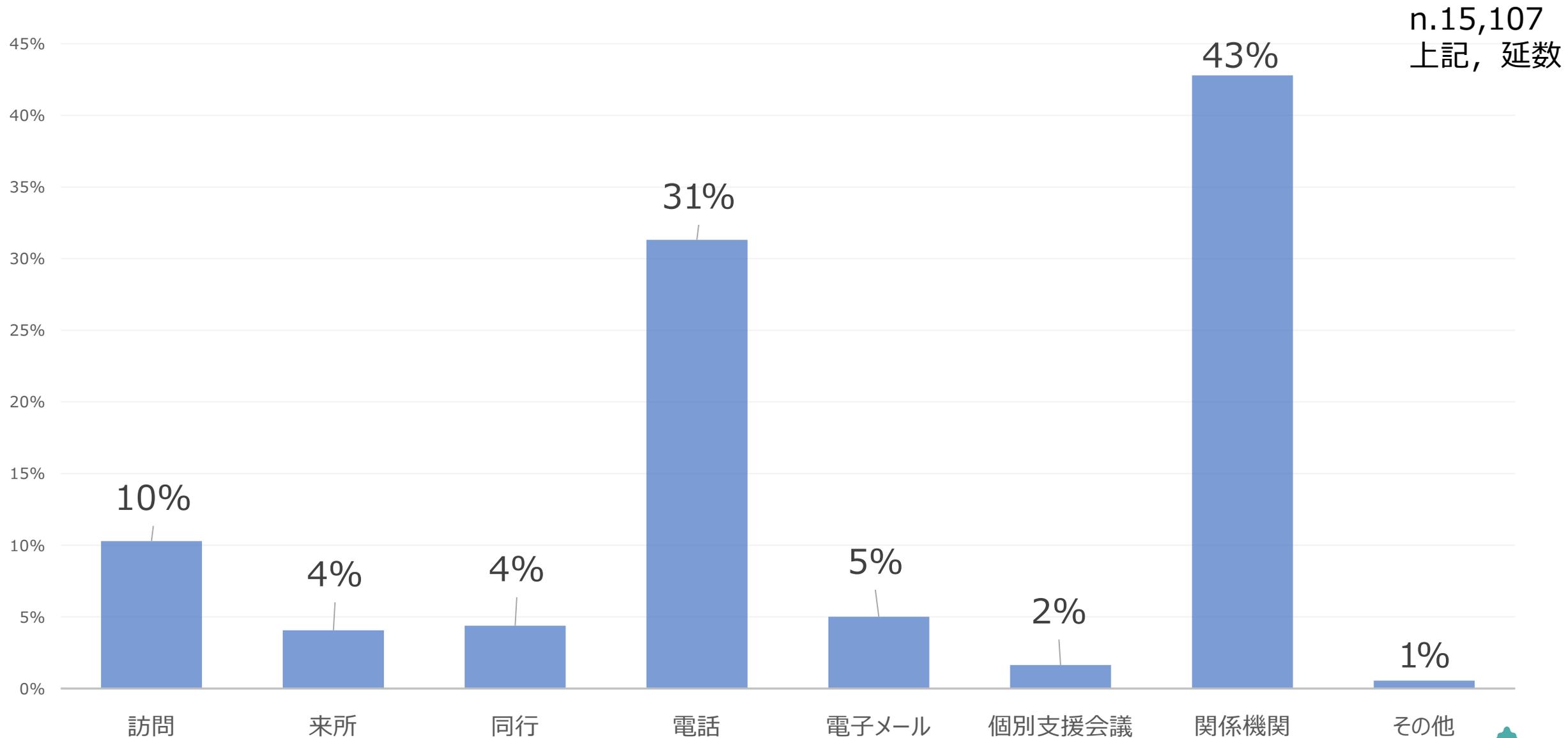


高次脳

者の障害内訳

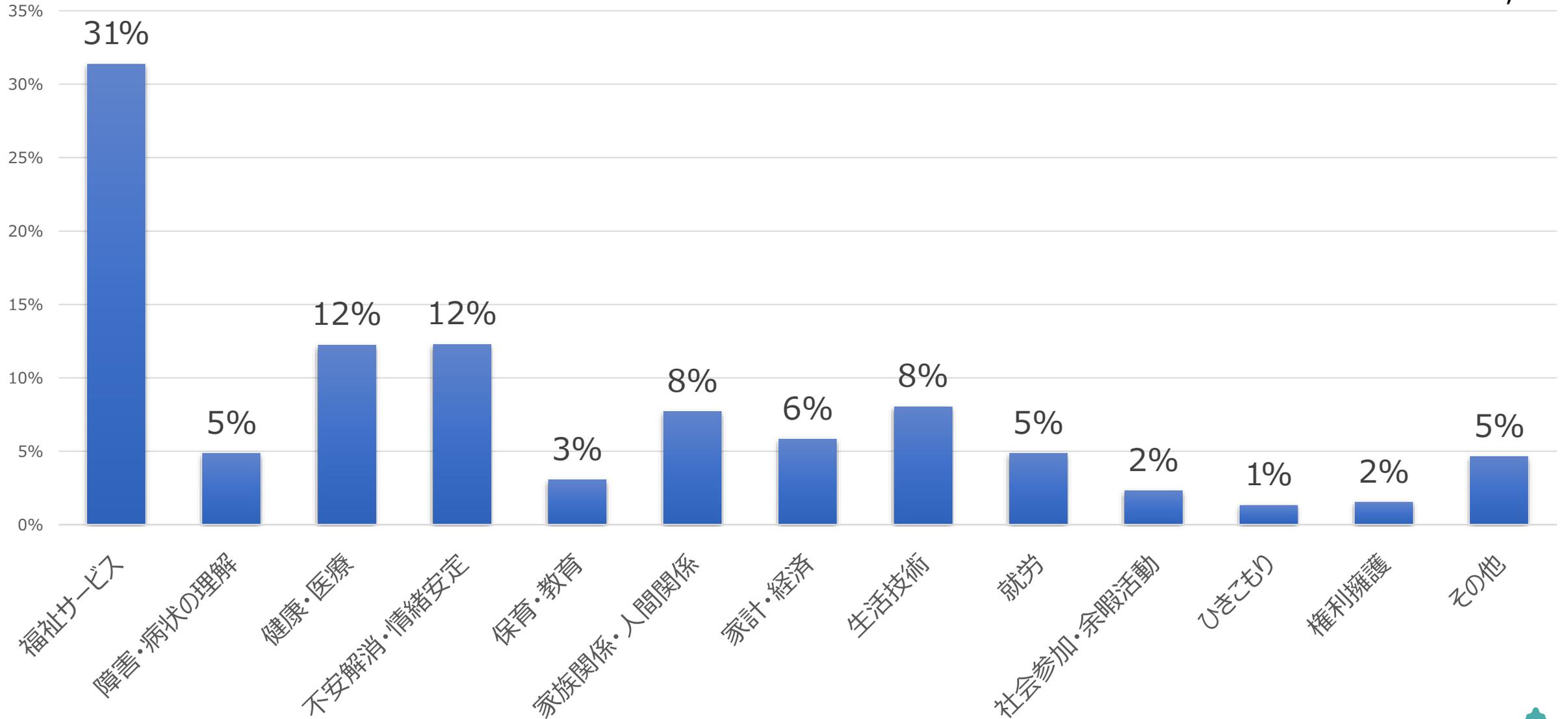


# 4.相談支援方法



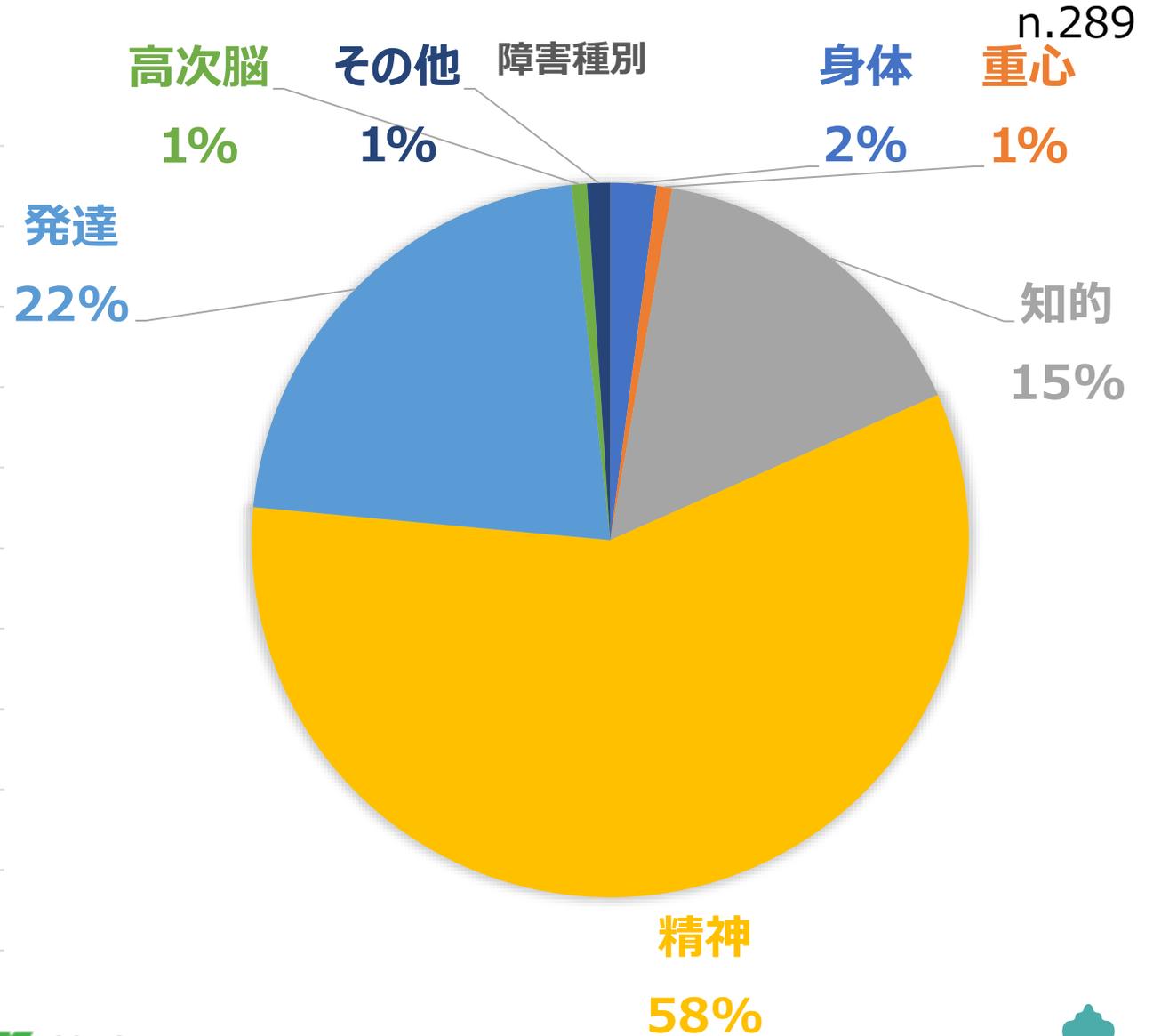
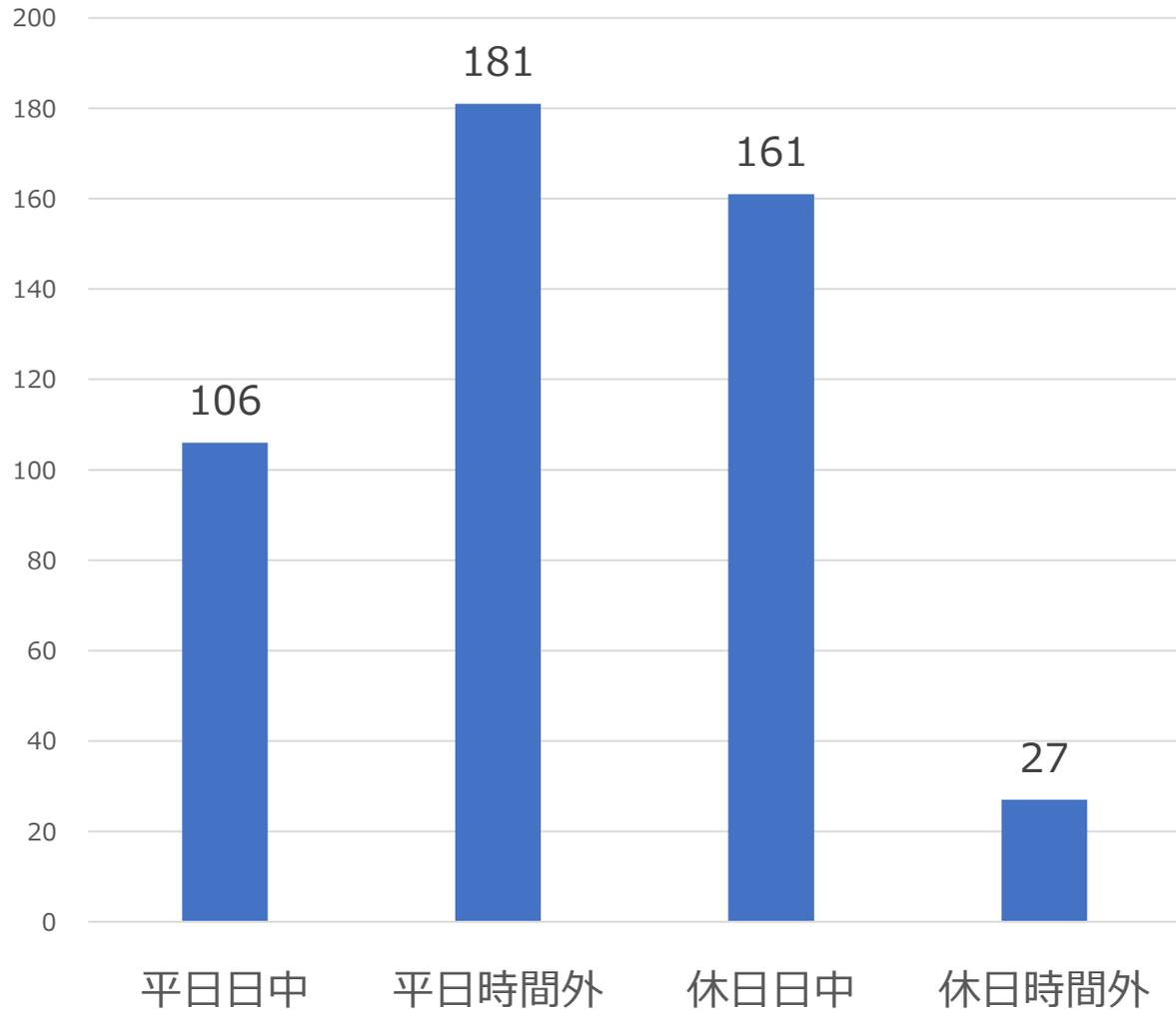
# 5.相談内容（重複カウント有）

n.29,496



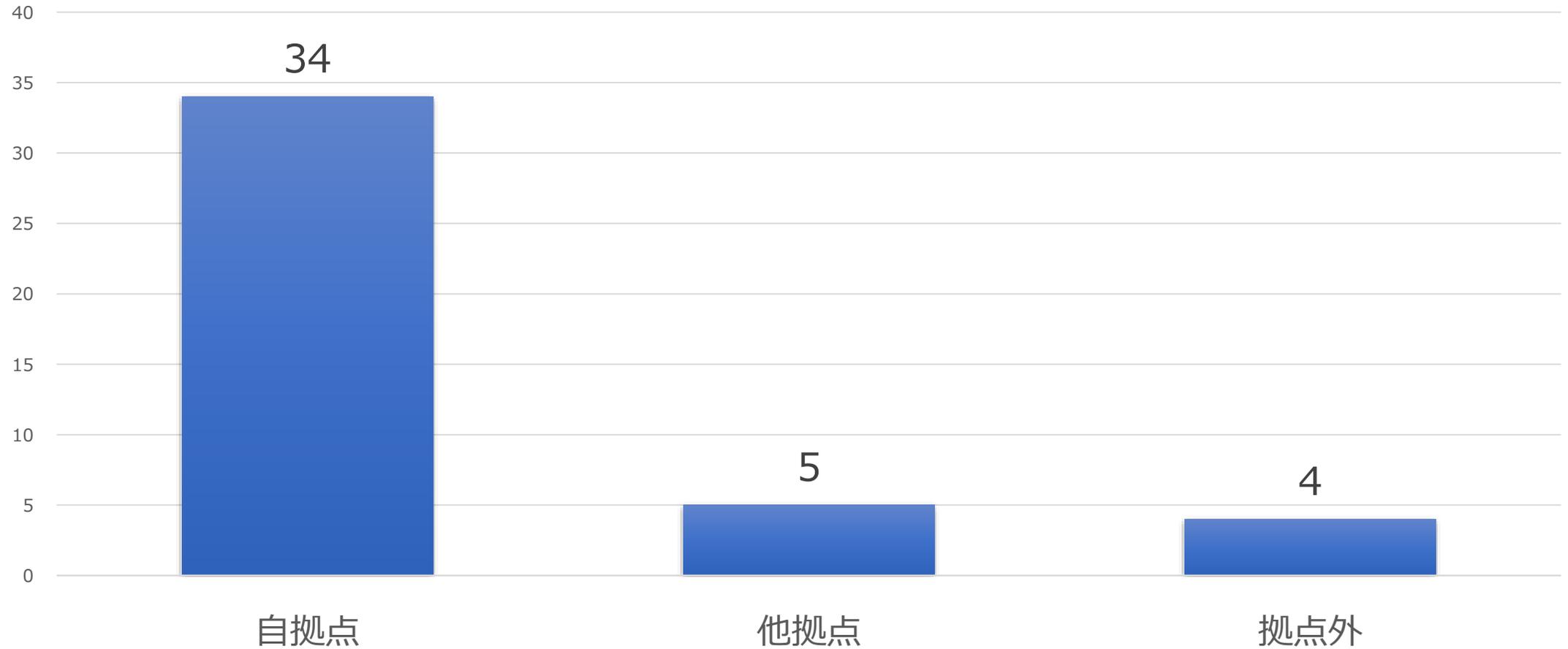
# 6.緊急相談対応状況（拠点のみ）

対応時間帯 n.457

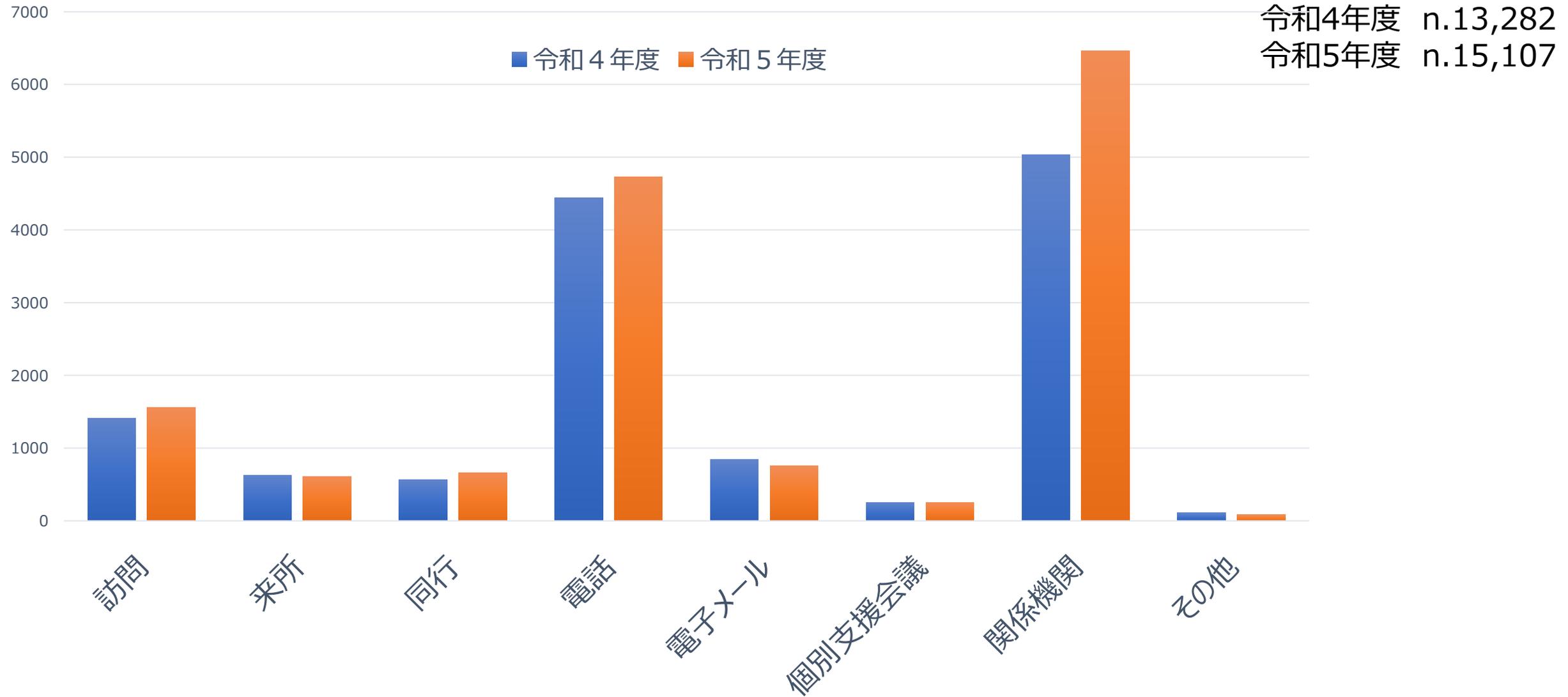


# 7.緊急時短期利用コーディネート件数（拠点のみ）

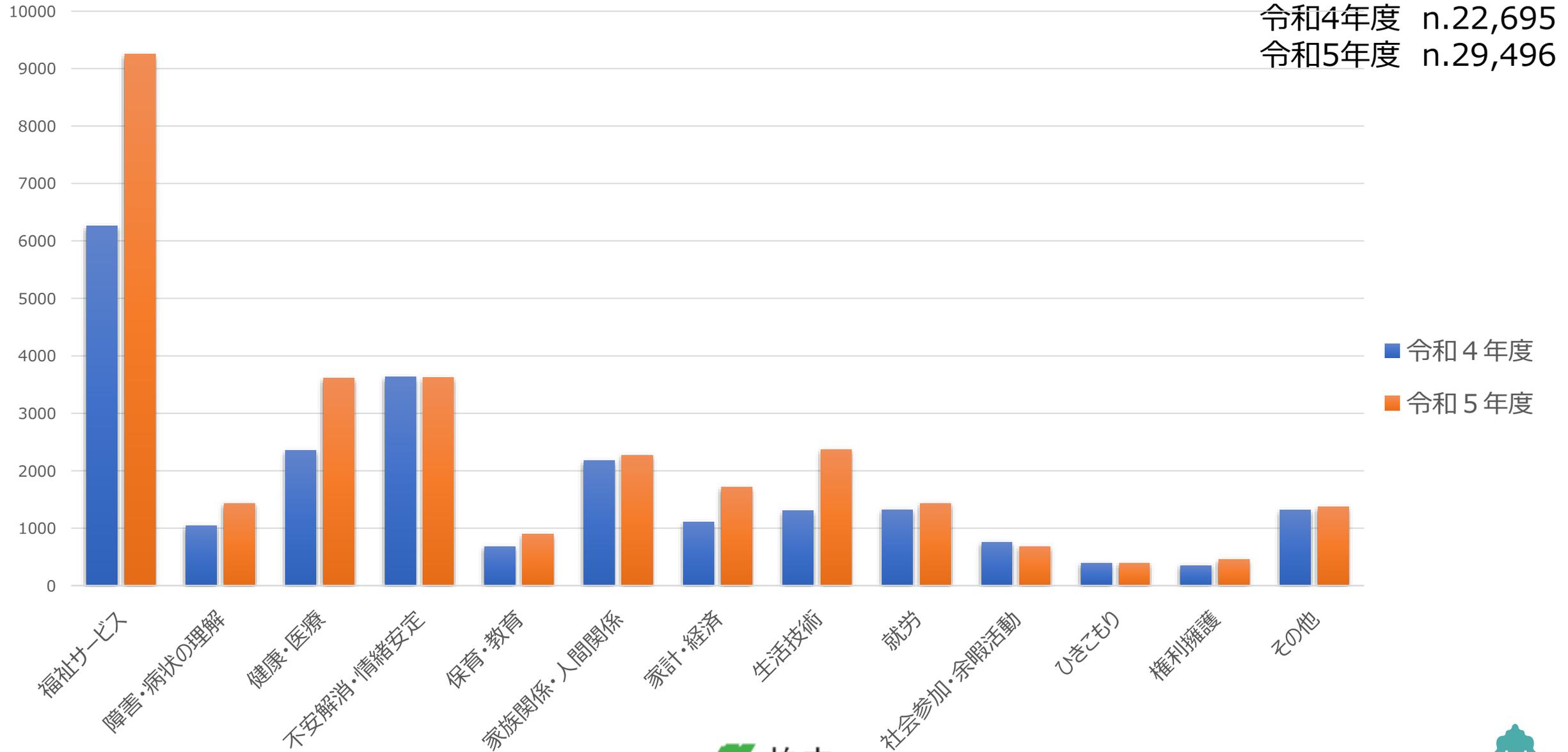
n.43



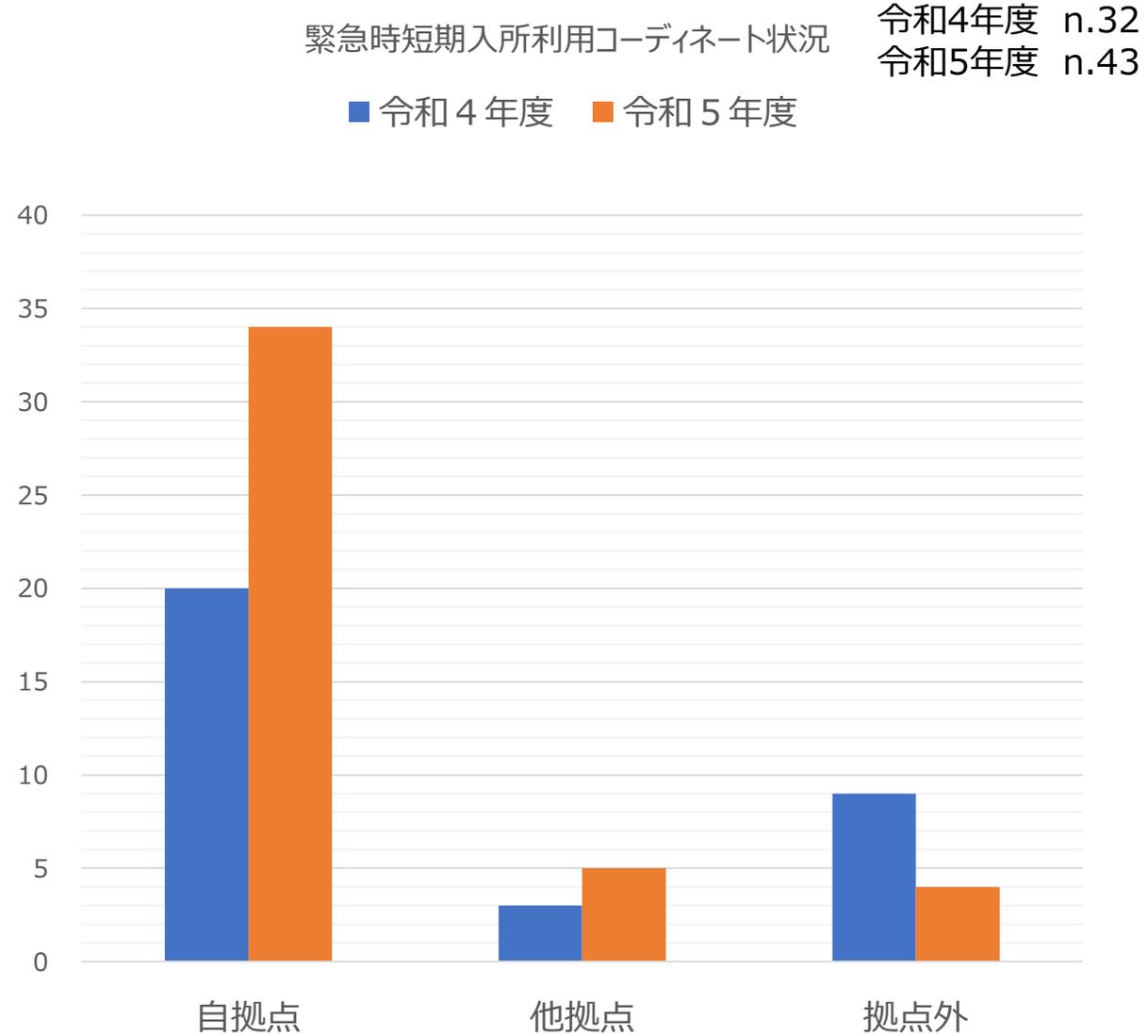
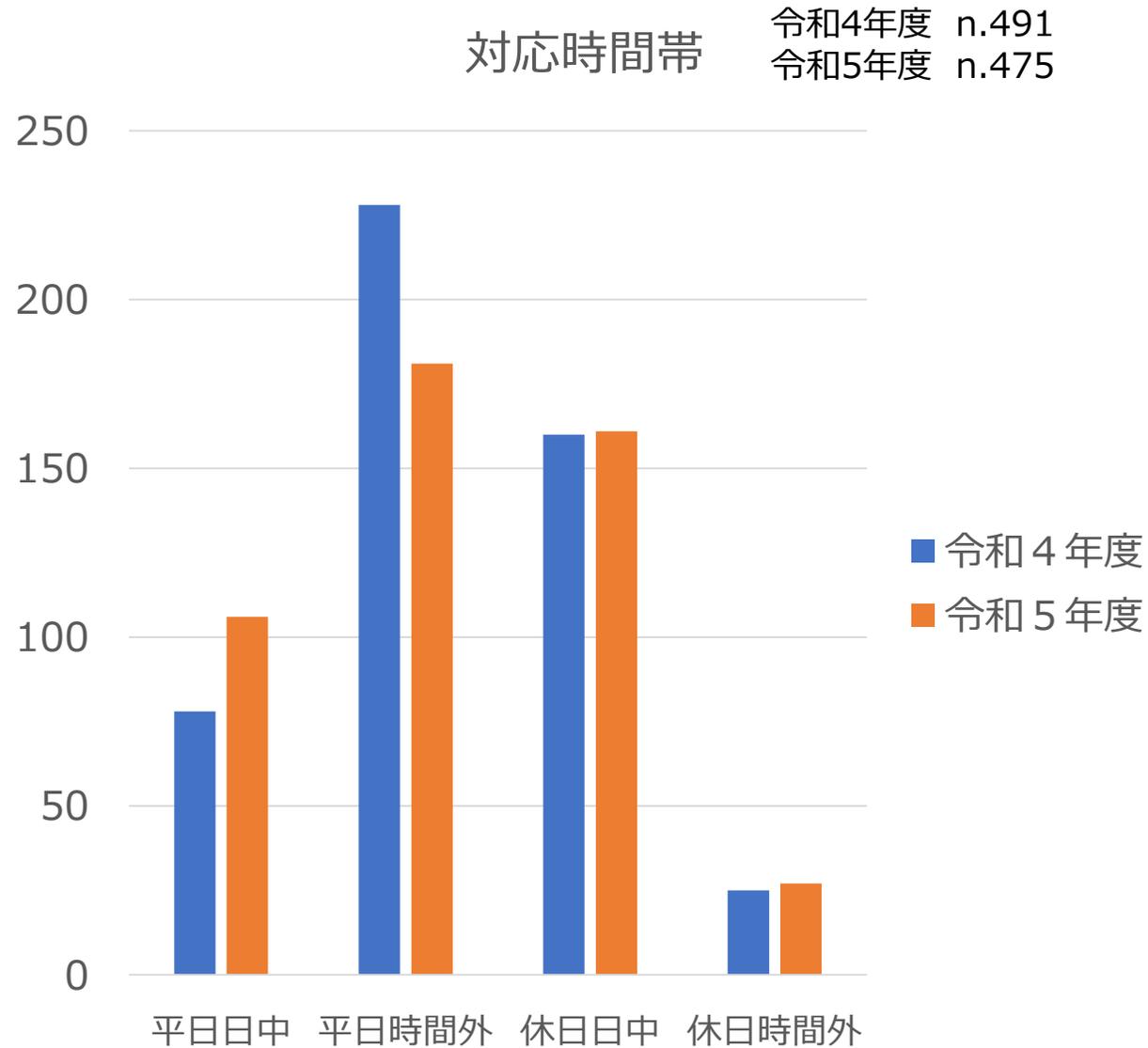
# 8. 支援方法の令和4年度との比較



# 9.相談内容の令和4年度との比較



# 10. 緊急時相談対応状況の令和4年度との比較



## ○委託相談支援実施報告からのまとめ

- 新規相談は前年度と比べ、40%の伸びがみられた。
- 障害の内訳では、大人では精神に障害をお持ちの方が約6割を占めているのに対し、子供では精神に障害をお持ちの方は1割も満たず、子供では発達に障害をお持ちの方が5割強という結果であった。
- 相談内容では、福祉サービスに関する内容がもっと多く3割となり、次いで健康医療と不安の解消に関する内容が1割弱という結果であった。
- 緊急時相談対応状況では、精神に障害をお持ちの方からの相談が6割程度であった。次いで発達に障害をお持ちの方が2割であった。
- 緊急時短期入所コーディネートでは、自拠点での受入が多く占めていた。各拠点での受け入れを優先的にコーディネートしていることが伺えた。
- 令和4年度との比較については、件数の違いはあれど、対応内容の傾向はほとんど同じ傾向が見られた。

# 拠点による、地域の人材育成及び地域資源ネットワーク強化への取組

		R 4 年度	R 5 年度
地区別研修	地域生活支援拠点あおば	2 回	3 回
	地域生活支援拠点たんぽぽ	1 回	4 回
	地域生活支援拠点しょうなん	8 回	1 2 回
	地域生活支援拠点ぶるーむの風	2 回	4 回

# 拠点活動内容（地区別研修及び独自の活動）

地域生活支援拠点	状況
地域生活支援拠点あおば	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施</li><li>・複数の関係機関との研修会の開催</li><li>・相談支援事業所訪問支援及び強度行動障害研修の開催</li><li>・千葉県相談支援従事者研修インターバル受け入れ対応</li></ul>
地域生活支援拠点たんぽぽ	<ul style="list-style-type: none"><li>・複数の関係機関との研修会の開催</li><li>・精神にも担当した地域包括ケアシステム構築推進事業の運営</li><li>・ピアサポート交流会を年3回開催</li></ul>
地域生活支援拠点しょうなん	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施（毎月）</li><li>・複数の関係機関との研修会の開催</li><li>・柏市内社会資源ツアーの開催</li></ul>
地域生活支援拠点ぶるーむの風	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施</li><li>・障害児等医療的ケア支援連絡会の運営</li><li>・風らっとルーム：自助グループの開催等</li><li>・市立中学校教員向け、権利擁護・障がい理解研修</li></ul>